



環境側面に関する情報

※ 環境パフォーマンスデータの対象組織は、原則的に連結財務諸表の範囲で、環境負荷の大きさを基準に設定しています。ただし、一部の販売及び生産(組み立て)子会社は含まれていません。
特に表記のないものは、上記の集計範囲で行っています。
なお、「グループ合計」の値は、それを構成する各小計の合算値と必ずしも一致していない場合があります。

地球温暖化対策

CO₂排出量[※]の推移

(単位:千t-CO₂/年)

	2005年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
日本・生産	1,084	918	903	895	872	856
日本・非生産	28	24	25	30	27	30
海外・生産	345	367	384	351	347	331
海外・非生産	30	29	26	42	42	39
グループ合計	1,487	1,338	1,338	1,317	1,288	1,256

※ 算定方法:省エネ法に準拠し、エネルギー使用によるCO₂排出量を算出。買電については各電力会社の排出係数を使用

2015年度の地域別CO₂排出量[※](製造)

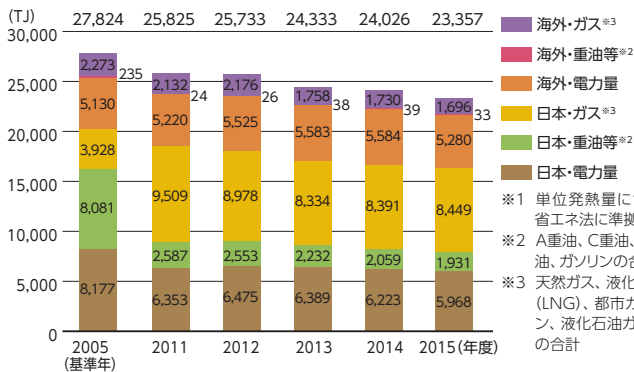
(単位:千t-CO₂/年)

	CO ₂ 排出量	
日本	886	
海外	米州(アメリカ、カナダ、ブラジル)	154
	欧州(オランダ、ドイツ、ベルギー、イギリス、フランス)	85
	中国	97
	中国を除くアジア・オセアニア(オーストラリア、韓国、シンガポールなど)	33
グループ合計	1,256	

※ 算定方法:省エネ法に準拠し、エネルギー使用によるCO₂排出量を算出。買電については各電力会社の排出係数を使用

省エネルギー対策

エネルギー使用量^{※1}の推移



※1 単位発熱量については省エネ法に準拠
※2 A重油、C重油、灯油、軽油、ガソリンの合計
※3 天然ガス、液化天然ガス(LNG)、都市ガス、ブタン、液化石油ガス(LPG)の合計

2015年度の重油等使用量[※]の内訳

(単位:千kL)

	重油	灯油	軽油	ガソリン
日本	45.8	1.1	0.1	0.0
海外	0.0	0.0	0.7	0.2
グループ合計	45.8	1.1	0.8	0.2

※製造における使用のみ

物流における環境配慮

国内輸送におけるCO₂総排出量[※]の推移

(単位:t-CO₂/年)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
CO ₂ 総排出量	41,450	44,278	47,075	45,633	50,229

※ このCO₂総排出量は、富士フィルムロジスティクスが関わった富士フィルムグループ各社分をすべて含めて算出。また、2006年度より改正省エネ法による把握方法に切り替え(空車の走行部分は含めないなど)

輸送効率改善によるCO₂削減量[※]と削減率[※](国内物流)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
CO ₂ 排出削減量(t-CO ₂ /年)	6,969.9	7,753.6	6,353.7	11,403.5	12,691.6
CO ₂ 削減率(%)	14.4	14.9	11.9	20.0	20.2

$$\text{CO}_2\text{削減率}(\%) = \frac{\text{CO}_2\text{削減量}}{\text{CO}_2\text{総排出量} + \text{CO}_2\text{削減量}}$$

※ 2015年度も特定荷主と連携してCO₂削減活動を推進。効果的な施策としては、2014年度より実施しているモーダルシフト(陸送輸送→海上輸送)に加え、物流拠点の見直しに伴う輸送距離の短縮及び2段積みによる積載効率の向上、エコドライブによる燃費向上などがあげられる。削減量は事業所ごとに実施しているCO₂削減施策の積み上げ値より算出

国内輸送量[※]の推移

(単位:百万t・km)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
輸送量	175	194	186	181	190

※ 輸送量の算定範囲は、改正省エネ法報告に従った所有権範囲と同一

輸出用包装資材の重量削減率[※]の推移[※](累計)

(単位:%)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
包装資材削減率	3.4	10.1	15.5	9.3	10.5

$$\text{包装資材削減率}(\%) = \frac{\text{削減重量}}{\text{総資材重量} + \text{削減重量}}$$

※ 2015年度に富士フィルムロジスティクスが取り扱った輸出用包装資材の総重量は1,180,463.3トン。削減重量138,501.8トン、年間の削減率は10.5%

容器包装材料[※]使用量の推移(富士フィルム単独)

(単位:千t/年)

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
総使用量	18.5	18.2	16.3	15.5	15.2

※ ダンボール、紙材、紙器、金属材料、プラスチック成形品、プラスチックフィルム・シート、ガラスの合計